

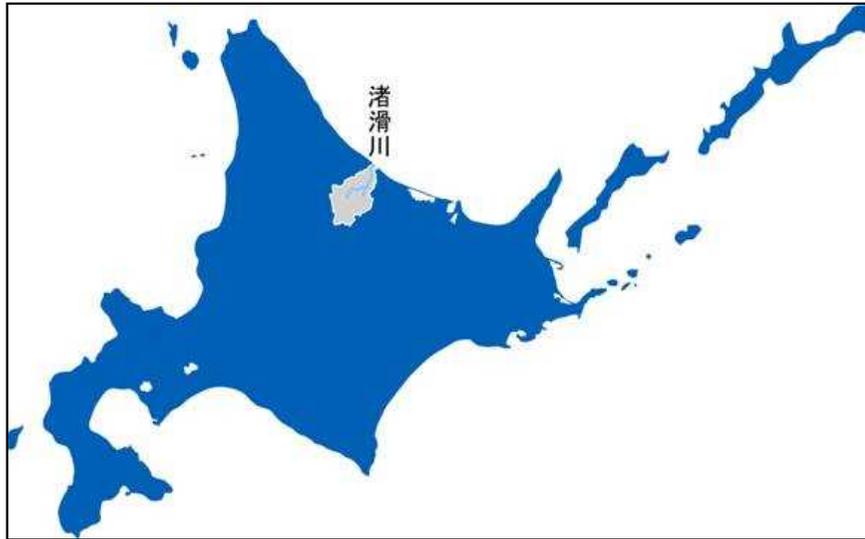
渚滑川の概要

<河川の特徴>

一級河川 渚滑川について

- ◆ 水 源 北見山地 天塩岳 (標高1,558m)
- ◆ 流域面積 流域面積1,240km²
- ◆ 流路延長 84km

・ 水源の天塩岳より山間部の滝上町を流れ、サクルー川、立牛川等の支川を合わせ、紋別市上渚滑にて平野部を流れ、ウツツ川等の支川を合わせ、紋別市渚滑町にてオホーツク海に注ぐ、一級河川です。



渚滑川位置図

・ 流域の土地利用は、山林等が約92%、耕地は畑作の約7%、宅地等の市街地が約1%となっており、森林資源などに恵まれています。

流域の中下流部では農地として明治初期から開け酪農が盛んであり、下流の紋別市はホタテやズワイガニの全国有数の産地となっています。

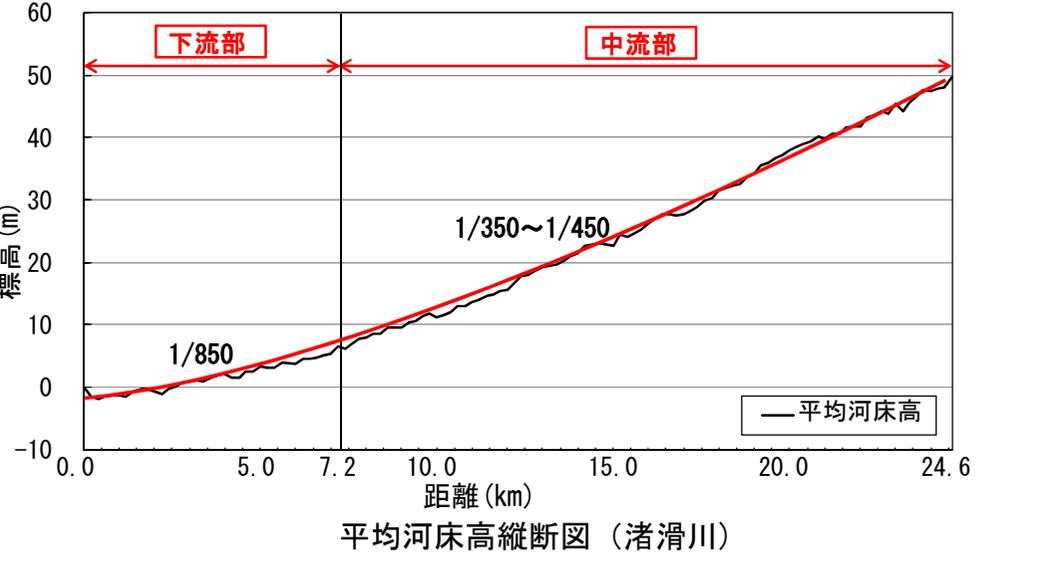
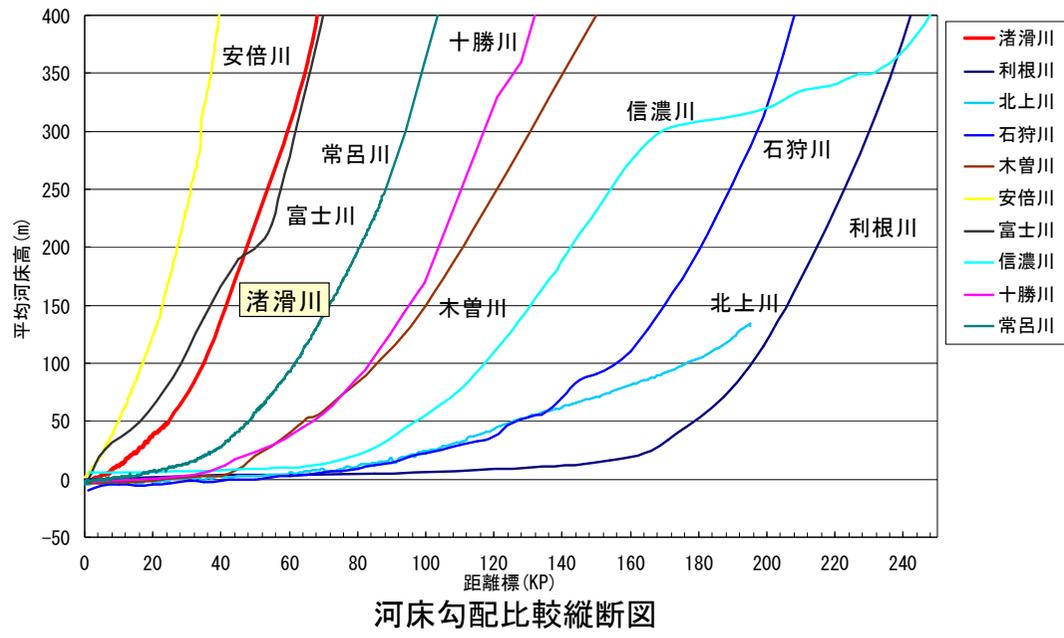
渚滑川流域図

凡 例	
	流 域 界
	河 川 ・ 湖 沼
	市 町 村 界
	基 準 地 点
	主 要 地 点
	指 定 区 間 外 区 間
	2 条 7 号 区 間
	市 街 地
	森 林 地
	農 地



渚滑川流域の地形① 河道の特性

◆ 渚滑川の河床勾配は、下流部で1/850程度、中流部で1/350~1/450程度、上流部で1/100程度であり、全川を通じて比較的急勾配である。



渚滑川流域の地形② 流域の地形特性

◆ 流域の地形の大部分は山地、丘陵地であり、平地は山間の谷底平野と最下流部に分布。



① 河口閉塞防止のため、導流堤を整備



② 兩岸に田畑が広がり、河道は単列砂州を形成



地形図



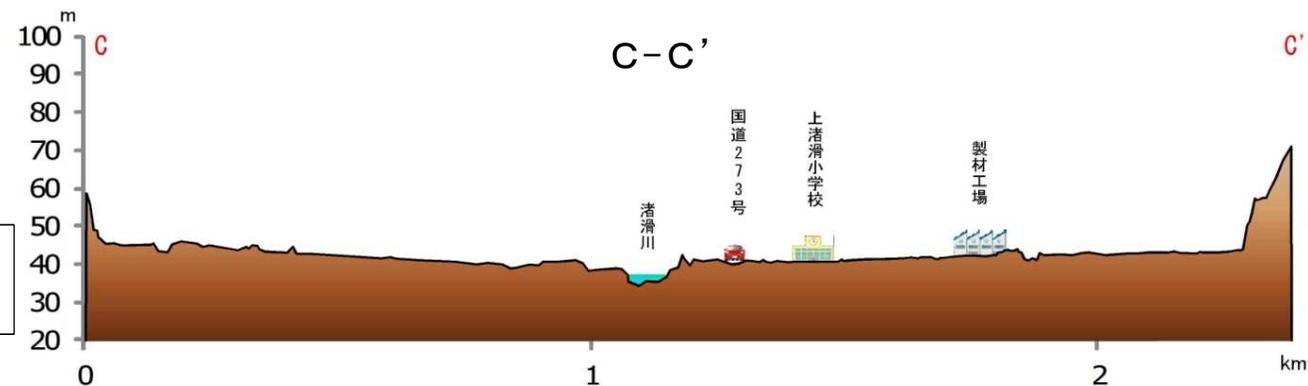
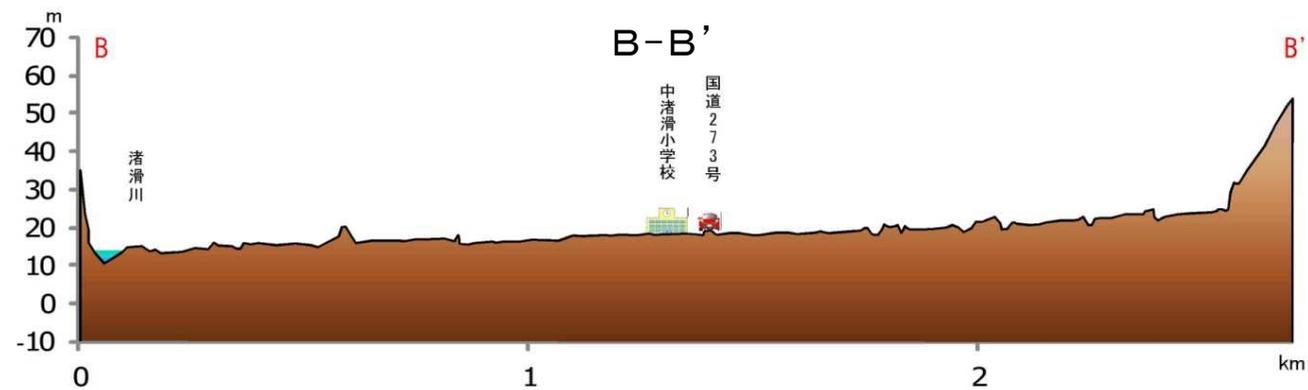
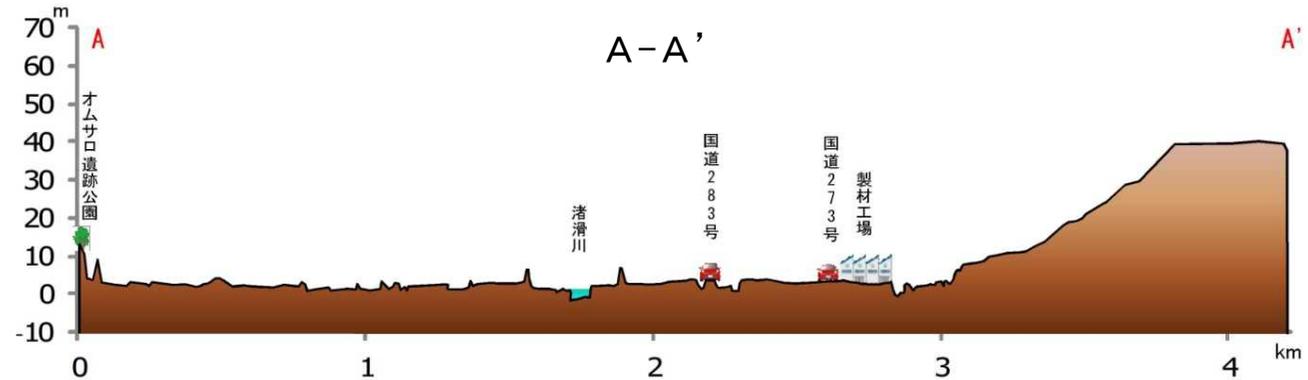
③ 左岸は山付きであり、河道は複列砂州を形成



④ 上渚滑市街地を流れ、高水敷は牧草地として利用

渚滑川流域の地形③ 河川周辺の地形特性

◆下流部から中流部の河川周辺は、低地から緩やかに台地が形成されている。



渚滑川流域の地質特性

- ◆ 最上流山地及び流域の東側では、火山性岩石の安山岩質岩石が分布している。
 - ・ 上流部の大半の山地は、先白亜系日高累層群の半固結—固結堆積物の粘性岩により構成される。
 - ・ 中下流部の狭長な台地から平野部にかけては、河岸段丘を構成する砂礫層などの堆積物から成る。
- ◆ 河道横断箇所地質は、主に軟弱な未固結堆積物となっている。

